

シズイ *Schoenoplectus nipponicus* (Makino) Sojak

【評価理由】

個体数階級 2、集団数階級 3、生育環境階級 4、人為圧階級 3、固有性階級 2、総点 14。水のきれいなため池に生育する植物で、愛知県では減少傾向が著しい。

【形態】

多年生草本。根茎は細く、先端に小さい塊茎をつける。地上茎は単生または少数が束生し、高さ 40~60cm、幅 2~4mm、3 稜形、下部に 3~5 個の葉をつける。葉は線形、茎よりやや短く、幅 2~3mm、平滑で、断面は三角形となる。花期は 7~10 月、花序は散房状で、枝は 2~3 本、分枝しないか 1~2 回分枝し、長いものは 4cm に達し、まばらに 5~8 個の小穂をつける。花序の基部につく苞は 1 個で、茎に続いて直立し、長さ 10~20cm、そのため花序は側生状に見える。小穂は長楕円形、長さ 1~1.7cm、幅 5~7mm、先端は鋭頭、黄褐色、鱗片は狭卵形で、長さ 4~5mm である。果実は倒卵形、レンズ状で長さ約 2mm、暗褐色で光沢はなく、刺針状花被片は 4 個で、果実のほぼ 2 倍の長さがある。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：4 津具 (芹沢 78745, 2003-8-24)、11 作手 (小林 53302, 1994-8-21)。尾：37a 瀬戸 (大谷敏和 72, 2000-8-23)、38a 長久手 (芹沢 75999, 1999-8-1)。27 みよし (黒笹, 芹沢 53101, 1989-9-7) にもあったが絶滅した。このほか、12 新城 (富岡, 加藤等次 s.n., 1963-9-8)、32a 刈谷 (井ヶ谷町, 加藤潤子 125, 1978-7-3)、50 名古屋北部 (守山区上志段味, 飯尾俊介 85, 1964-8-31)、51 名古屋南東部 (桶狭間, 稲垣貫一 s.n., 1947-6, CBM109995) で採集された標本もある。

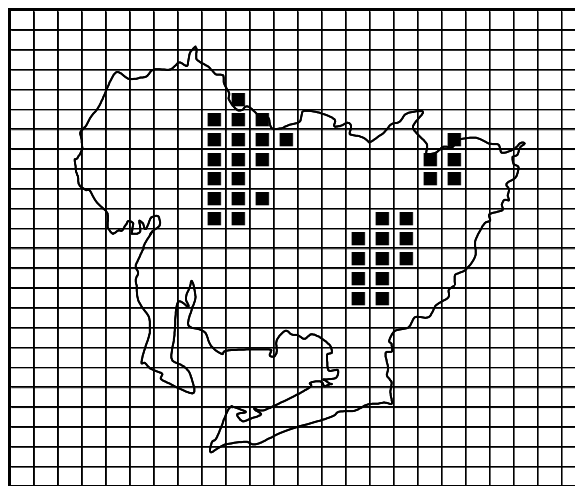
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州に生育する。

【世界の分布】

日本、朝鮮半島、中国大陸東北部に分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

丘陵地の池沼の、浅い水中に生育する。愛知県では丘陵地の奥や山間部にある小規模なため池に生育していることが多い。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩				
湿地				
水域	○	○		

【現在の生育状況／減少の要因】

点在するが、どの場所でも個体数は少ない。刈谷では、水質汚濁により絶滅した (ミスミイの項参照)。みよしでは、生育地の丘陵が宅地造成で削られ、絶滅した。また瀬戸市の自生地の一つは、東海環状自動車の建設により埋め立てられた。

【保全上の留意点】

生育地のため池を保全することが必要である。特に改修の際には、配慮が必要である。

【特記事項】

テガヌマイとも呼ばれる。この名は、千葉県の手賀沼に因むものである。

【関連文献】

保草本Ⅲp.217, 平草本 I p.179, 平新版 1 p.357, SOS 旧版 p.108.